※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	（学）体育実技演習	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主体的にメリハリをもって授業に臨み、仲間とともに授業を作りあげていきましょう。
・実技指導実践を通して指導案の作成を行い、授業の進め方や指導法を学びましょう。
・仲間とコミュニケーションを図り、技能を高めあえるようにしましょう。
・安全面に留意し、怪我等のないように集中して活動しましょう。

２　学習の到達目標

体つくり運動や各種目を深く実践するとともに、ひとつひとつの動作を確認、研究し学ぶ。
また、実技指導実践によって指導者としての資質向上を図り、進路実現をめざす。
（１）体つくり運動を理解し、実践を深める。多くの種目を体験し、技術力を身につける。
（２）他の人のフォームをチェックして、動作解析を行う技術を学ぶ。競技者・指導者として求められる資質について理解を深め、倫理観を踏まえて自らの考えを表現している。
（３）様々な実技指導実践を通して、スポーツの推進及び発展に寄与する意義を理解し、運動の楽しさや喜びを深く味わうことのできる社会の実現をめざし、主体的に取り組んでいる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各種目の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、技術の名称や行い方を理解し、身に付けている。	生涯にわたって運動を継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて、思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して各種目に親しむ態度を養い、健康な社会づくりに向けて主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	実技指導実践	下記4つの内容からそれぞれが選択して、実践する。 ・器械運動 ・陸上競技 ・球技 ・ダンス	a:各種目の技の名称や行い方、体力の高め方を理解し、技能を身に付けている。 練習方法への理解を深めることができている。 b:各種目の課題に応じて、工夫した練習が計画されており、運動の方法や技能のポイントがわかりやすく丁寧にまとめられている。 授業計画者は、自己の考えたことを他者に積極的に伝えるなど、指導者としての役割を果たそうとしている。 練習計画に沿って活動し、周りと協働して活動している。 c:各種目の楽しさや喜びを味わおうとしている。 技能を向上させるだけでなく、健康・安全を確保して、主体的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート	・観察 ・ワークシート ・パフォーマンス課題	・観察 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度